

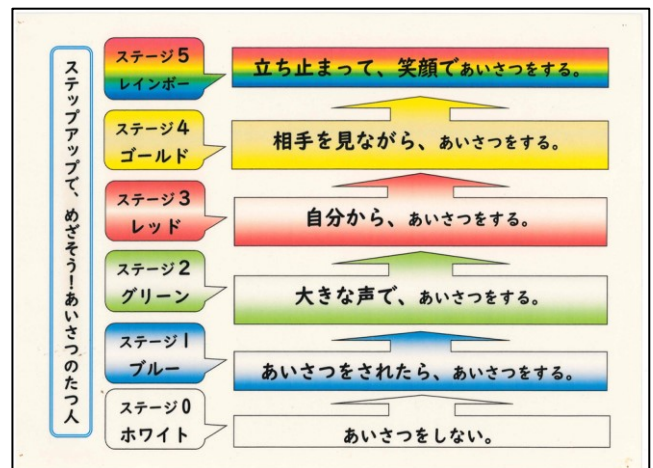
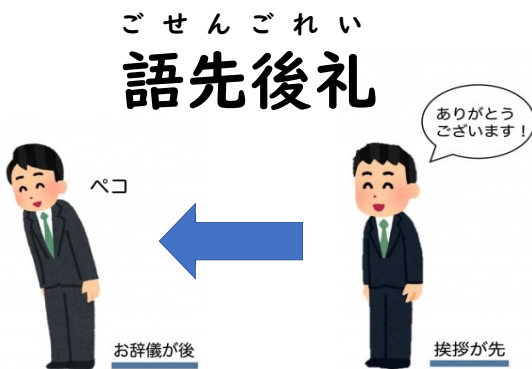


5月31日（金）に、1・2年生は生活科の一環として（栽培）、3～5年生は食育の一環として（地産地消）、幡多農業高等学校にトマトの収穫体験に行ってきました。子どもたちが生き生きと活動している様子がTVや新聞で報道されましたが、ご覧になられたでしょうか。その取材の際にマスコミの方々から、「あいさつができる」「礼儀正しい」「受け答えがしっかりしている」等々、お褒めの言葉をたくさんいただきました。



本校では、「やればできる 心一つに みんながやる八束」をスローガンに、あいさつ・返事・拍手・片付けの徹底を図っています。特に、あいさつについては、生活朝会でも取り上げ、意義や意味、八束小学校が目指すあいさつの仕方などについて話をしていましたので、日頃の取組の成果が発揮されたことを大変嬉しく思います。

### 【八束小学校が目指す「あいさつ」の仕方】



また、トマトハウスに入った時に、子ども達の脱いだ靴が揃えて置かれていることにも感心しました。ちょうど、先週の生活朝会で「片づけ」をテーマに話をし、いつも下駄箱の靴が整頓されていることを褒めたばかりでしたので、靴を揃える習慣が、しっかりと身に付いているなあと思ったことでした。



こんな素敵な詩があります。

はきものをそろえると心もそろろう 心がそろうとはきものもそろろう  
ぬぐどきにそろえておくと はくどきに心がみだれない  
だれかがみだしておいたら だまってそろえておいてあげよう  
そうすればきっと 世界中の人の心もそろうでしょう（藤本幸邦作）

子どもたちにも紹介しました！

はきものに限らず「そろえる」ことは大切だと考えます。そこで、今、全校で取り組んでいるのが、傘立ての整理整頓です。先週の雨の日には、全員が傘をくるくる巻いて傘立てに置くことができていました。生活朝会で伝えたことを、すぐに実行できるところが八束っ子の良さです。これからの梅雨の時期に、しっかりと習慣づけたいと思います。

とはいえ、これらの生活習慣は学校だけで身に付くものではありません。学校と家庭の両輪で取り組んでこそ、いつでも・どこでも実行できるものと考えます。右の写真は、先月の参観日の時の玄関の様子です。「この親にしてこの子あり」子どもたちが当たり前のように靴を揃えるのは、家庭教育の賜物だと実感しました。今後も、学校と家庭が足並みを揃えて取組を進めていければと思います。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。



## ～ ようこそ先輩！ 職場体験学習 ～



5月22日から3日間、中村西中学校3年生の田中さんが職場体験に来ていました。期間中はミニ先生として全クラスに入り、教員とともに児童の指導・支援にあたりました。

職場体験の3日本当にお世話になりました!!  
 最初はみんなと仲良くなれるかどうかとても不安だったけど、困ってる時に  
 すぐ助けてくれるし、みんながたくさんしゃべりかけてくれてとても楽しかった  
 です。特に1、2年生が休み時間や学童の子たちが手を引いて遊びに誘って  
 くれるし、お礼のときも1年生に簡単なイラストを書いた  
 だけでとても喜んでくれてとてもやりがいを感じました。  
 休み時間で学年関係なく遊ぶことができて1束はほんとに  
 良かったと思います。先生方もいろんなことを優しく教えてくれて  
 良かったです。また来る機会があったら気軽にしゃべりかけてください!! 3日間ありがとうございました!!

Summer days

将来は接客業に就きたいと語っていた田中さん。そのために必要なコミュニケーション力を高めることができたようです。

世間からは、ブラック企業のように言われる学校ですが、子どもたちの将来を担う、夢とやりがいのある素敵な仕事です。子どもたちが好きで、且つ子どもたちから慕われる魅力を備えた田中さんにピッタリの仕事だと思いました。今回の体験をきっかけに、教員の道も夢の候補に入れてもらえると嬉しいです。

### ～ おめでとう!～

6年：多久間さん 5月30日高知新聞掲載「来年はグラタン」  
 2年：横山さん RKC ラジオ放送 詩「ぼくもできたよ」  
 6月28日 AM9:10～・29日 AM8:20～